



特別展

彫刻家

エル・アナツイ のアフリカ

A Fateful Journey

——アートと文化をめぐる旅

Africa in the Works of El Anatsui

● 国立民族学博物館 特別展示館 2010年9月16日(木) — 12月7日(火)

【開館時間】 午前10時—午後5時 (入館は午後4時30分まで) 【休館日】 水曜日 (水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

【無料観覧日】 9月20日(月・祝)、11月3日(水・祝)、11月20日(土)、11月21日(日) 【主催】 国立民族学博物館、読売新聞社、

美術館連絡協議会 【後援】 外務省 【協賛】 ライオン、清水建設、大日本印刷 【協力】 ルフトハンザ カーゴ AG

【撮影協力】 CASO



[特別展]

彫刻家 エル・アナツイの 아프리카

—アートと文化をめぐる旅

同時代のアフリカ美術は、長らく外部から注目されることがなかったのですが、1989年にパリで開かれた「マジシャン・ドウ・ラ・テール」展を契機に、多くの美術関係者の関心を引くようになりました。その後、今日まで、アフリカの現代美術に関する展覧会は各国で開催され、それに伴ってシンポジウム、出版も行われてきました。

ガーナ生まれでナイジェリア在住の彫刻家エル・アナツイ(1944-)は、近年、ワインやビールの瓶のふた、あるいはシールといった廃品を使い、優美でスケールの大きな織物を織りあげることで知られています。すでにヴェネツィア・ビエンナーレにも二度招かれ、また作品も主だった博物館、美術館に収蔵されるなど、いまやアフリカのみならず、世界的にもめざましい活躍を見せています。

しかしながら、アフリカのアーティストをとりまく環境には複雑なものがあります。たとえば、彼らの居場所は、いわゆる博物館と美術館の間で宙づりになっていることが多いのです。現に、アナツイの織物の作品は、ロンドンの大英博物館でもパリのポンピドゥ・センター(国立近代美術館)でも見ることができます。

本展では、こうしたアフリカの現代美術が置かれた状況を前向きに捉えなおし、エル・アナツイというアーティストの作品世界を、美術史と文化人類学の双方の視点から語ろうとします。そのことにより、美術史と文化人類学、美術館と民族学博物館の新しい創造的な協力関係を模索していきます。



あてどなき宿命の旅路 1995
世田谷美術館



くすかご 2004-2010



レッド・ブロック 2010



ナネヴィ(さなぎ) 2004



排水管 2010

関連企画 ※詳しくは、みんぱくウェブサイト <http://www.minpaku.ac.jp/> をご覧ください。

国際シンポジウム

10月30日 [土] ※開催時間はお問い合わせ下さい。
「エル・アナツイの／からの世界」
竹沢尚一郎(国立民族学博物館) 講堂

みんぱくセミナー

9月18日 [土] 13:30-15:00
「博物館と美術館の間—美術から見える現代アフリカの居場所」
川口幸也(国立民族学博物館) 講堂

10月16日 [土] 13:30-15:00
「西アフリカ—アートと歴史の交差点で」
竹沢尚一郎(国立民族学博物館) 講堂

11月20日 [土] 13:30-15:00
「アフリカの王様たちは今—ナイジェリアの政治と文化」
松本尚之(横浜国立大学) 講堂

みんぱくウィークエンド・サロン

9月26日 [日] 14:30-15:30
「アートと歴史のはざまから」
竹沢尚一郎(国立民族学博物館) 特別展示館

10月3日 [日] 14:30-15:30
「彫刻家エル・アナツイが語るアフリカの歴史と行く末」
川口幸也(国立民族学博物館) 特別展示館

ワークショップ

9月25日 [土]、10月23日 [土] 12:00-13:00
「地球おはなし村によるワークショップとドラムの演奏」
エントランス前広場(雨天:本館エントランスホール)

ギャラリー・トーク 特別展示館

9月25日 [土] 14:00-15:00 / 10月23日 [土] 14:00-15:00 /
11月20日 [土] 11:00-12:00

[観覧料] 一般 830円(560円)、高校・大学生 450円(250円)、小・中学生 250円(130円)

()は、20名以上の団体料金、大学等*の授業でご利用の方、授業レポート等の作成を目的とする高校生、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金(要証明書等)* 大学等は、短大、大学、大学院、専修学校の専門課程 ※自然文化園(有料区域)を通過してこられる場合、自然文化園各ゲート脇の券売機で当館(国立民族学博物館)の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。 ※障害者手帳をお持ちの方は、付添者1名とともに無料で観覧できます。また、毎週土曜日は、小学生・中学生・高校生は無料で観覧できます。ただし、自然文化園を通行される場合は、同園の入園料が別途必要です。

交通のご案内

*国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。

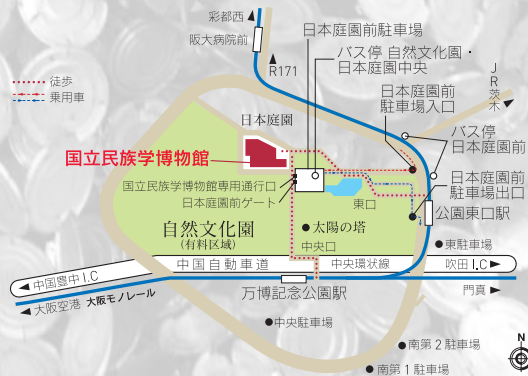
大阪モノレール 「万博記念公園駅」下車徒歩約15分(展示場をご覧になる方は、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めにれば無料で通行できます。)

「公園東口駅」下車徒歩約15分(「公園東口駅」からは自然文化園を通行せずに来館できます。)

バス (近鉄バス) (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分・JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分(阪急バス) (万博記念公園駅経由千里中央行き) 阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

タクシー 万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

自動車 駐車施設が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分(「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。)



[お問い合わせ先]

国立民族学博物館 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号 TEL:06-6876-2151 <http://www.minpaku.ac.jp/>

